

別紙

I. 事業評価総括表

(単位：円)

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は間接交付金事業者名	交付金事業に要した経費	交付金充当額	備考
1	地域活性化措置	伊方町一般廃棄物収集運搬等業務委託事業	伊方町	42,336,000	40,000,000	
2	”	伊方町地域活性化イベント事業	伊方町	6,203,720	5,500,000	
3	”	地域環境対策作業事業	伊方町	31,334,900	30,000,000	
合 計				79,874,620	75,500,000	

II. 事業評価個表

番号	措 置 名	交 付 金 事 業 名		
1	地域活性化措置	伊方町一般廃棄物収集運搬等業務委託事業		
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		伊方町		
交付金事業実施場所		伊方町内		
交付金事業の概要		一般家庭から排出されるごみは、適正かつ効率的に収集、及び有効な処理を施す必要があるため、民間事業者に委託し、分別収集から適正処理までの収集運搬等業務を実施。		
総事業費		42,336,000	交付金充当額 うち文部科学省分 うち経済産業省分	40,000,000 0 40,000,000
交付金事業の成果及び評価		一般家庭から排出されるごみは廃棄物の衛生的な処理の観点から迅速かつ効率的に収集することが求められており分別収集による資源リサイクルへの取り組みと併せて実施。また、廃棄物の適正処理と資源化を両立した循環型社会の形成により快適で潤いのある生活空間の提供に寄与することができた。		
交付金事業の実施に伴い締結された売買、貸借、請負その他の契約				
契約の目的		契約の方法	契約の相手方	契約金額
ごみ処理業務委託事業(請負)		制限付一般競争入札	(株)クリーンサービス伊方	42,336,000
成果及び評価に係る第三者機関の活用の有無				
無				
本事業に来年度以降も交付金を充当する場合の本事業に係る基本的な考え方				
有効かつ適正なごみ収集運搬体制を図るため今後も実施予定。				
交付金事業の成果の再評価を行う場合の予定年度			特に予定なし	

II. 事業評価個表

番号	措 置 名	交 付 金 事 業 名	
2	地域活性化措置	伊方町地域活性化イベント事業	
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		伊方町	
交付金事業実施場所	伊方町湊浦		
交付金事業の概要	<p>地場産業の振興と地域活性化を目的にイベントを開催。</p> <p>・杜氏の里の酒まつりと食の祭典 ・和太鼓の演奏 ・きなはいや伊方おどり ・きなはいや市場</p> <p>・花火大会 ・活魚のつかみどり ・こどもすもう伊方場所 ・ふれあい広場他</p> <p>きなはいや伊方まつり2015に係る経費(イベント用仮設・設備費、宣伝費、イベント費他)</p>		
総事業費	6,203,720	交付金充当額 うち文部科学省分 うち経済産業省分	5,500,000 0 5,500,000
交付金事業の成果及び評価	<p>イベントPR活動と町特産品のPRを、マスコミ等を活用して展開することにより従来地元観光物産センターや個人店舗での直販中心であった商品の販路拡大と販売量の増大を図り、関連産業の振興の一翼を担うことができた。また、イベントの開催により伝統文化や地元食文化、町特産品等の地域資源の良さを次世代に継承し、課題である後継者の育成や地場産業の活性化に繋がっている。</p> <p>観客動員数 25年度 約 25,000 人 26年度 約 31,000 人 27年度 約 26,000 人</p>		

交付金事業の実施に伴い締結された売買、貸借、請負その他の契約			
契約の目的	契約の方法	契約の相手方	契約金額
給排水仮設(請負)	随意契約	福田水道工事店	86,400
会場仮設(請負)	指名競争	伊方サービス株式会社	3,380,400
電気仮設(請負)	随意契約	伊方電気工事株式会社	270,000
放送整備(貸借)	随意契約	梶田電器	104,760
ポスター等作成(請負)	随意契約	株式会社豊予社	169,992
TV宣伝広告(請負)	随意契約	財団法人八西地域総合情報センター	54,000
地方紙等宣伝広告(請負)	指名競争	セーラー広告株式会社宇和島支社	918,000
地方紙宣伝広告(請負)	随意契約	八幡浜新聞社	25,920
地方紙宣伝広告(請負)	随意契約	八幡浜民報社	19,440
看板・横断幕等作成(請負)	随意契約	アド工房	46,440
つかみどり用活魚(売買)	随意契約	八幡浜漁業協同組合伊方支所	390,000
交通誘導警備委託(請負)	随意契約	有限会社伊豫警備保障	442,800
楯・メダル他(子供相撲用)(売買)	随意契約	伊方町商工業協同組合	174,960
参加賞用ノート・賞状用紙他(売買)	随意契約	伊方町商工業協同組合	40,802
保険料(請負)	随意契約	損保ジャパン日本興亜株式会社	51,240
検査料(請負)	随意契約	株式会社ビー・エム・エル宇和島営業所	5,184
イベント消耗品(売買)	随意契約	伊方町商工業協同組合	23,382
成果及び評価に係る第三者機関の活用の有無			6,203,720
無			
本事業に来年度以降も交付金を充当する場合の本事業に係る基本的な考え方			
イベントを通じた特産品等のPR活動等推進のため今後も実施予定。			
交付金事業の成果の再評価を行う場合の予定年度		特に予定なし	

II. 事業評価個表

番号	措 置 名	交 付 金 事 業 名	
3	地域活性化措置	地域環境対策作業事業	
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		伊方町	
交付金事業実施場所	伊方町内		
交付金事業の概要	<p>道路は住民の生活に必要不可欠なものであり、生活物資などを運ぶ重要な役割をはたしているが、特に春から夏にかけて雑草が繁茂し、また、豪雨には小規模な崩壊等があり、道路幅員の減少及び視距が悪化して交通に支障をきたし、事故につながる恐れがあるため年間を通じて道路等の維持管理、環境保全を実施。また、公園は住民等の憩いの場であり、子供の健全育成、地域のコミュニティ活動等様々な余暇活動の場所であるが、特に春から夏にかけて雑草が繁茂して害虫や蛇等が生息し、利用者に危害を及ぼす恐れがあるため、町内の主要な公園を中心に年間を通じて公園の維持管理、環境保全を実施。【道路作業チーム】9名、【公園作業チーム】3名</p>		
総事業費	31,334,900	交付金充当額	30,000,000
		うち文部科学省分	0
		うち経済産業省分	30,000,000
交付金事業の成果及び評価	<p>町内3地域毎に町内の主要幹線道路を中心に、年間を通じて道路等の維持管理、環境保全及び、公園の維持管理、環境保全に努めることにより、住民の生活環境の向上に寄与できた。限界集落に指定されている地域を始め住民の負担軽減となり町内全域から感謝の声が上がっている。</p>		
交付金事業の実施に伴い締結された売買、貸借、請負その他の契約			
	契約の目的	契約の方法	契約の相手方
	人件費	雇用	-
			31,334,900(総事業費)
成果及び評価に係る第三者機関の活用の有無			
無			
本事業に来年度以降も交付金を充当する場合の本事業に係る基本的な考え方			
地域環境整備のため今後も充当予定			
交付金事業の成果の再評価を行う場合の予定年度		特に予定なし	

別紙

I. 事業評価総括表

(単位：円)

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は間接交付金事業者名	交付金事業に要した経費	交付金充当額	備考
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	伊方町町見デイサービスセンター送迎車整備事業	伊方町	3,133,025	2,800,000	
合 計				3,133,025	2,800,000	

II. 事業評価個表

番号	措 置 名	交 付 金 事 業 名										
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	伊方町町見デイサービスセンター送迎車整備事業										
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		伊方町										
交付金事業実施場所	町見老人デイサービスセンター(愛媛県西宇和郡伊方町九町6番耕地840番地14) □											
交付金事業の概要	現在運行しているデイサービスセンター送迎車は老朽化しており、車両の故障のみではなく、車椅子リフトも動作不良が度々発生している。また、故障修繕のため送迎に利用できないことがあり、利用者からの不安や不満の声も出ている。利用者の精神的・身体的負担の軽減と安全確保及び送迎能力の向上を図り、福祉の向上に寄与するため送迎車(乗車定員10名)を更新した。											
総事業費	3,133,025	交付金充当額	2,800,000									
		うち文部科学省分	0									
		うち経済産業省分	2,800,000									
交付金事業の成果及び評価	<p>今回の車両更新により、利用者から「エンジン音が静かで安心して乗れる。」「車内の手すりが多く安全になった。」「室内が高く前かがみにならなくても乗り降りができる。」などの素直な意見が聞かれるとともに、車いす昇降装置の故障の心配がないことや、車内空間が広がったことによる乗り降りや介助の利便性向上など、送迎業務が安全かつ円滑に実施できるようになったとのことなどから、地域福祉や老人福祉対策に大きく貢献している。</p> <p>運行実績</p> <table border="1"> <tr> <td>平成27年12月</td> <td>27回</td> <td>137人(48人)</td> </tr> <tr> <td>1月</td> <td>38回</td> <td>184人(82人)</td> </tr> <tr> <td>2月</td> <td>42回</td> <td>224人(106人)</td> </tr> </table> <p>※利用月 利用回数 述べ利用人数(内述べ車椅子利用人数)</p>			平成27年12月	27回	137人(48人)	1月	38回	184人(82人)	2月	42回	224人(106人)
平成27年12月	27回	137人(48人)										
1月	38回	184人(82人)										
2月	42回	224人(106人)										
交付金事業の実施に伴い締結された売買、貸借、請負その他の契約												
	契約の目的	契約の方法	契約の相手方									
	伊方町町見デイサービスセンター送迎車整備事業(売買)	指名競争入札	真田自動車整備工場									
			契約金額									
			3,133,025									
成果及び評価に係る第三者機関の活用の有無												
無												
本事業に来年度以降も交付金を充当する場合の本事業に係る基本的な考え方												
来年度以降(耐用年数経過後)、老朽化等により使用困難となる場合には本交付金により更新することも考えられる。												
交付金事業の成果の再評価を行う場合の予定年度		特に予定なし										

別紙

I. 事業評価総括表

(単位：円)

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は間接交付金事業者名	交付金事業に要した経費	交付金充当額	備考
1	福祉対策措置	伊方町国民健康保険医療機器整備事業	伊方町	11,988,000	11,000,000	
合 計				11,988,000	11,000,000	

II. 事業評価個表

番号	措 置 名	交 付 金 事 業 名	
1	福祉対策措置	伊方町国民健康保険医療機器整備事業	
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		伊方町	
交付金事業実施場所	瀬戸診療所(愛媛県西宇和郡伊方町三机乙2587番地)		
交付金事業の概要	内視鏡システムは、長期間の使用で経年変化(劣化)が生じ、動作チェック時に不具合が生じるなど、円滑な検査が困難になっており、本機器を更新することにより、早期診断や治療に対し効果的に処置を図る。		
総事業費	11,988,000	交付金充当額 うち文部科学省分 うち経済産業省分	11,000,000 0 11,000,000
交付金事業の成果及び評価	<p>・電子内視鏡システムを更新することにより、鮮明なカメラ画像で診察出来る様になり、住民福祉の向上に寄与した。</p> <p style="text-align: center;">H27.12月分 H28.1月分 H28.2月分</p> <p style="text-align: center;">・利用回数 1 件 2 件 4 件</p>		
交付金事業の実施に伴い締結された売買、貸借、請負その他の契約			
	契約の目的	契約の方法	契約の相手方
	電子内視鏡システム (売買)	制限付き一般競争入札	共和医理器株式会社愛媛支店
			11,988,000
成果及び評価に係る第三者機関の活用の有無			
無			
本事業に来年度以降も交付金を充当する場合の本事業に係る基本的な考え方			
来年度以降(耐用年数経過後)、老朽化等により使用困難となる場合には本交付金により更新することも考えられる。			
交付金事業の成果の再評価を行う場合の予定年度		特に予定なし	

別紙

I. 事業評価総括表

(単位：円)

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は間接交付金事業者名	交付金事業に要した経費	交付金充当額	備考
1	福祉対策措置	伊方町国民健康保険申診療所訪問指導車整備事業	伊方町	777,720	670,000	
合 計				777,720	670,000	

II. 事業評価個表

番号	措 置 名	交 付 金 事 業 名	
1	福祉対策措置	伊方町国民健康保険串診療所訪問指導車整備事業	
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		伊方町	
交付金事業実施場所	串診療所(愛媛県西宇和郡伊方町串466番地)□		
交付金事業の概要	訪問指導車(乗車定員4名)を新規に整備することにより、訪問看護等の在宅医療のさらなる充実と在宅患者の緊急時に迅速かつ適確に対応できる診療体制の構築を図ることが可能となり、地域医療の確保に大きく貢献する。		
総事業費	777,720	交付金充当額	670,000
		うち文部科学省分	0
		うち経済産業省分	670,000
交付金事業の成果及び評価	<p>訪問指導車を整備することにより、看護師による定期的な訪問看護、緊急時の訪問及び出張診療所での診療に利用できるため、在宅患者が安心して自宅で療養生活を送るための支援等、患者のニーズに即応できる診療体制の構築を図ることが可能となったことから、地域医療の安定的な確保に大きく貢献した。</p> <p>訪問指導車整備後の利用回数…H27.11月:3回、12月:12回、平成28年1月:13回、2月:8回</p>		
交付金事業の実施に伴い締結された売買、貸借、請負その他の契約			
	契約の目的	契約の方法	契約の相手方
	伊方町国民健康保険串診療所訪問指導車整備事業(売買)	指名競争入札	宇藤モータース
			777,720
成果及び評価に係る第三者機関の活用の有無			
無			
本事業に來年度以降も交付金を充当する場合の本事業に係る基本的な考え方			
來年度以降(耐用年数経過後)、老朽化等により使用困難となる場合には本交付金により更新することも考えられる。			
交付金事業の成果の再評価を行う場合の予定年度		特に予定なし	

別紙

I. 事業評価総括表

(単位：円)

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は間接交付金事業者名	交付金事業に要した経費	交付金充当額	備考
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	伊方スポーツセンター改修事業	伊方町	61,224,000	50,000,000	
合 計				61,224,000	50,000,000	

II. 事業評価個表

番号	措 置 名	交 付 金 事 業 名		
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	伊方スポーツセンター改修事業		
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		伊方町		
交付金事業実施場所	伊方スポーツセンター（愛媛県西宇和郡伊方町湊浦）			
交付金事業の概要	アリーナの照明をLED照明に交換し、平均照度を上げるとともに電気代を節約、電球も長期間換えなくてよいように改修、キズや凸凹が目立つようになったアリーナの床を研磨・塗装及び各コートライン引き直し、観客席の床シート貼り換え、トイレの一部洋式化など、各所修繕工事を行う。			
総事業費	61,224,000	交付金充当額	50,000,000	
		うち文部科学省分	0	
		うち経済産業省分	50,000,000	
交付金事業の成果及び評価	<p>利用者から「アリーナが明るくなり床もきれいになって利用しやすくなった。」「観客席やトイレがきれいになり快適になった」等の意見が寄せられ、本事業による改修で利用者が当該施設を快適に使用でき、町民の健康増進、スポーツ人口の増加に繋がられる。</p> <p>平均照度 改修前 800ルクス → 改修後 1600ルクス 利用者数 H28.3 2,929人（工事中） H28.4 3,035人 H28.5 3,297人</p>			
交付金事業の実施に伴い締結された売買、貸借、請負その他の契約				
	契約の目的	契約の方法	契約の相手方	契約金額
	伊方スポーツセンター改修事業	制限付き一般競争入札	有限会社 宇都宮組	61,224,000
成果及び評価に係る第三者機関の活用の有無				
無				
本事業に来年度以降も交付金を充当する場合の本事業に係る基本的な考え方				
来年度以降（耐用年数経過後）、老朽化等により使用困難となる場合には本交付金により更新することも考えられる。				
交付金事業の成果の再評価を行う場合の予定年度			特に予定なし	

別紙

I. 事業評価総括表

(単位：円)

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は間接交付金事業者名	交付金事業に要した経費	交付金充当額	備考
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	大浜・中之浜地区落石防止対策事業	伊方町	33,772,000	32,000,000	
合 計				33,772,000	32,000,000	

Ⅱ. 事業評価個表

番号	措 置 名	交 付 金 事 業 名		
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	大浜・中之浜地区落石防止対策事業		
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		伊方町		
交付金事業実施場所	大浜・中之浜地区(愛媛県西宇和郡伊方町大浜435-5、434-3、441-1、中之浜1-11、1-12)			
交付金事業の概要	<p>本施工箇所は、大浜・中之浜両地区を結ぶ海岸線沿いの自然斜面である。斜面の下には海岸保全施設である護岸が整備されているが、水叩部を車両が通行できることから、護岸整備後は生活道路として利用されてきた。しかし、護岸背後が急峻な岩盤斜面となっており、亀裂が多く、落石痕も見られることから、落石の発生する可能性が高く、通行時の安全性に問題がある状況であるため本事業を実施。</p>			
総事業費	33,772,000	交付金充当額	32,000,000	
		うち文部科学省分	0	
		うち経済産業省分	32,000,000	
交付金事業の成果及び評価	<p>本事業により法面对策を行い、落石による被害を未然に防ぎ、護岸利用者(通行者)の安全を確保する事が出来た。</p> <p>・法面对策 L=131m</p>			
交付金事業の実施に伴い締結された売買、貸借、請負その他の契約				
	契約の目的	契約の方法	契約の相手方	契約金額
	大浜・中之浜地区落石防止対策事業(請負)	制限付き一般競争入札	飛田建設有限会社	33,772,000
成果及び評価に係る第三者機関の活用の有無				
無				
本事業に来年度以降も交付金を充当する場合の本事業に係る基本的な考え方				
来年度以降(耐用年数経過後)、老朽化等により使用困難となる場合には本交付金により更新することも考えられる。				
交付金事業の成果の再評価を行う場合の予定年度			特に予定なし	

別紙

I. 事業評価総括表

(単位：円)

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は間接交付金事業者名	交付金事業に要した経費	交付金充当額	備考
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	町道湊浦奥線測量設計委託業務	伊方町	10,321,000	8,000,000	
合 計				10,321,000	8,000,000	

Ⅱ. 事業評価個表

番号	措 置 名	交 付 金 事 業 名	
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	町道湊浦奥線測量設計委託業務	
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		伊方町	
交付金事業実施場所		伊方町	
交付金事業の概要		本線は、集落間を接続する生活道路であり、定期バス路線、小中学生の通学バス路線、主要物流経路及び防災計画における主要道路でもある重要な幹線道路である。しかしながら、線形不良及び幅員狭小による離合困難及び落石の危険性があり、日常生活への支障と不安が絶えない状況である。改良工事を行うことにより、車輛通行の安全を確保するとともに、地区住民の生活向上を図る。	
総事業費		10,321,000	交付金充当額 8,000,000 うち文部科学省分 0 うち経済産業省分 8,000,000
交付金事業の成果及び評価		現況最少幅員が4.0mから改良後最少幅員が5.0mを確保することにより見通しの良い道路、離合可能な道路になる。これらの解消を図るため、道路改良工事のための測量設計を行い、今後、工事の施工により、生命及び交通の安全を確保し地区住民の生活の向上と併せて産業振興に寄与することが期待できる。 ・L=200.0m	
交付金事業の実施に伴い締結された売買、貸借、請負その他の契約			
契約の目的		契約の方法	契約の相手方
町道湊浦奥線測量設計委託業務		制限付一般競争入札	株式会社 五星 松山支店
契約金額			
10,321,000			
成果及び評価に係る第三者機関の活用の有無			
無			
本事業に来年度以降も交付金を充当する場合の本事業に係る基本的な考え方			
来年度以降(耐用年数経過後)、老朽化等により使用困難となる場合には本交付金により更新することも考えられる。			
交付金事業の成果の再評価を行う場合の予定年度		特に予定なし	

別紙

I. 事業評価総括表

(単位：円)

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は間接交付金事業者名	交付金事業に要した経費	交付金充当額	備考
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	町道灘線道路改良工事	伊方町	52,766,000	50,000,000	
合 計				52,766,000	50,000,000	

II. 事業評価個表

番号	措 置 名	交 付 金 事 業 名	
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	町道灘線道路改良工事	
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		伊方町	
交付金事業実施場所	町道灘線道路(愛媛県西宇和郡伊方町大浜)		
交付金事業の概要	本線は、集落間を接続する主要幹線であり、定期バス路線、主要物流経路及び地域防災計画における主要道路にも位置づけられ通学路にもなっているが、線形不良及び幅員狭小による交通事故の発生及び落石の危険性があり、日常生活への支障と不安が絶えない状況である。改良工事により、車輛離合困難の解消を図り通行の安全を確保するとともに、地区住民の生活向上を図ることができる。		
総事業費	52,766,000	交付金充当額 うち文部科学省分 うち経済産業省分	50,000,000 0 50,000,000
交付金事業の成果及び評価	道路改良工事により、現況最少幅員が4.0mから5.0mへと拡幅されたことで、見通しが良く離合可能な道路となり、生命及び交通の安全が確保され、地区住民の生活の向上と併せて産業振興に寄与することが出来た。 ・L=71.4m		
交付金事業の実施に伴い締結された売買、貸借、請負その他の契約			
	契約の目的	契約の方法	契約の相手方
	町道灘線道路改良工事 (請負)	制限付一般競争入札	飛田建設株式会社
			契約金額 52,766,000
成果及び評価に係る第三者機関の活用の有無			
無			
本事業に来年度以降も交付金を充当する場合の本事業に係る基本的な考え方			
来年度以降(耐用年数経過後)、老朽化等により使用困難となる場合には本交付金により更新することも考えられる。			
交付金事業の成果の再評価を行う場合の予定年度		特に予定なし	

別紙

I. 事業評価総括表

(単位：円)

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は間接交付金事業者名	交付金事業に要した経費	交付金充当額	備考
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	町道宇和海線道路改良工事（3工区）	伊方町	97,463,000	95,000,000	
合 計				97,463,000	95,000,000	

II. 事業評価個表

番号	措 置 名	交 付 金 事 業 名	
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	町道宇和海線道路改良工事(3工区)	
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		伊方町	
交付金事業実施場所	町道宇和海線道路(愛媛県西宇和郡伊方町塩成)		
交付金事業の概要	本路線は、宇和海側の各集落を接続している主要生活道路であり、主要物流経路及び地域防災計画における主要道路にも位置づけられている重要な生活道路であり、且つ、川之浜地区に開設された特養ホームへのアクセス道路にもなっているが、線形不良及び幅員狭小による離合困難にて諸車通行に支障をきたしている状況である。改良工事を行うことにより、車輛離合困難の解消を図り車輛通行の安全を確保するとともに、地区住民の生活向上を図ることができる。		
総事業費	97,463,000	交付金充当額 うち文部科学省分 うち経済産業省分	95,000,000 0 95,000,000
交付金事業の成果及び評価	道路改良工事により、現況最少幅員が4.0mから5.0mへと拡幅されたことで、見通しが良く離合可能な道路となり、生命及び交通の安全が確保され、地区住民の生活の向上と併せて産業振興に寄与することが出来た。 ・L=76.0m		
交付金事業の実施に伴い締結された売買、貸借、請負その他の契約			
	契約の目的	契約の方法	契約の相手方
	町道宇和海線道路改良工事(3工区)(請負)	制限付一般競争入札	藤川建設有限会社
			契約金額 97,463,000
成果及び評価に係る第三者機関の活用の有無			
無			
本事業に来年度以降も交付金を充当する場合の本事業に係る基本的な考え方			
来年度以降(耐用年数経過後)、老朽化等により使用困難となる場合には本交付金により更新することも考えられる。			
交付金事業の成果の再評価を行う場合の予定年度		特に予定なし	

別紙

I. 事業評価総括表

(単位：円)

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は間接交付金事業者名	交付金事業に要した経費	交付金充当額	備考
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	町道宇和海線道路防災工事	伊方町	41,548,000	39,000,000	
合 計				41,548,000	39,000,000	

II. 事業評価個表

番号	措 置 名	交 付 金 事 業 名	
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	町道宇和海線道路防災工事	
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		伊方町	
交付金事業実施場所	町道宇和海線道路(愛媛県西宇和郡伊方町大久)		
交付金事業の概要	本線は、集落間を接続する生活道路であり、主要物流経路及び防災計画における主要道路でもある重要な幹線道路である。しかしながら、山側斜面において経年的な風化等により落石の危険性が極めて高く、地区住民の日常生活及び産業活動に支障と不安を来している。今回、防災工事を行うことにより、落石の危険性の解消を図り、車輛通行の安全を確保し、地区住民の生活向上を図る。		
総事業費	41,548,000	交付金充当額 うち文部科学省分 うち経済産業省分	39,000,000 0 39,000,000
交付金事業の成果及び評価	<p>本事業により山側斜面の防災対策を行い、落石による被害を未然に防ぎ通行者の安全を確保出来た。 また、本線は原子力災害時の広域避難における大型車両の町内搬送ルートであることから、避難行動計画の実効性の向上が図られ、住民に安心感を与えられた。</p> <p>道路防災:L=79.4m</p>		
交付金事業の実施に伴い締結された売買、貸借、請負その他の契約			
	契約の目的	契約の方法	契約の相手方
	町道宇和海線道路防災工事(請負)	制限付一般競争入札	藤川建設有限会社
			契約金額 41,548,000
成果及び評価に係る第三者機関の活用の有無			
無			
本事業に来年度以降も交付金を充当する場合の本事業に係る基本的な考え方			
来年度以降(耐用年数経過後)、老朽化等により使用困難となる場合には本交付金により更新することも考えられる。			
交付金事業の成果の再評価を行う場合の予定年度		特に予定なし	

別紙

I. 事業評価総括表

(単位：円)

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は間接交付金事業者名	交付金事業に要した経費	交付金充当額	備考
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	町道田部高茂線道路改良工事	伊方町	55,353,000	51,000,000	
合 計				55,353,000	51,000,000	

II. 事業評価個表

番号	措 置 名	交 付 金 事 業 名	
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	町道田部高茂線道路改良工事	
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		伊方町	
交付金事業実施場所	町道田部高茂線道路(愛媛県西宇和郡伊方町田部)		
交付金事業の概要	本町道は、県道鳥井喜木津線と集落を接続する主要幹線道路であるが、線形不良で幅員が狭小により、車輛離合困難路線となっており、通行に支障をきたしている。通行の安全を図るため早急に改良工事を行う必要がある。改良工事を行うことにより、車輛離合困難の解消を図り車輛通行の安全を確保するとともに、地区住民の生活向上を図ることができる。		
総事業費	55,353,000	交付金充当額 うち文部科学省分 うち経済産業省分	51,000,000 0 51,000,000
交付金事業の成果及び評価	道路改良工事により、現況最少幅員が4.0mから5.0mへと拡張されたことで、見通しが良く離合可能な道路となり、生命及び交通の安全が確保され、地区住民の生活の向上と併せて産業振興に寄与することが出来た。 また、本線は原子力災害時の広域避難における大型車両の町内搬送ルートであることから、避難行動計画の実効性の向上が図られ、住民に安心感を与えられた。 ・L=105.5m		
交付金事業の実施に伴い締結された売買、貸借、請負その他の契約			
	契約の目的	契約の方法	契約の相手方
	町道田部高茂線道路改良工事(請負)	制限付一般競争入札	有限会社竹場建設
			契約金額 55,353,000
成果及び評価に係る第三者機関の活用の有無			
無			
本事業に来年度以降も交付金を充当する場合の本事業に係る基本的な考え方			
来年度以降(耐用年数経過後)、老朽化等により使用困難となる場合には本交付金により更新することも考えられる。			
交付金事業の成果の再評価を行う場合の予定年度		特に予定なし	

別紙

I. 事業評価総括表

(単位：円)

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は間接交付金事業者名	交付金事業に要した経費	交付金充当額	備考
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	町道宇和海線測量設計委託業務(6工区)	伊方町	15,346,800	15,300,000	
合 計				15,346,800	15,300,000	

II. 事業評価個表

番号	措 置 名	交 付 金 事 業 名	
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	町道宇和海線測量設計委託業務(6工区)	
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		伊方町	
交付金事業実施場所		伊方町	
交付金事業の概要		本路線は、宇和海側の各集落を接続している主要生活道路であり、主要物流経路及び地域防災計画における主要道路にも位置づけられている重要な生活道路であり、且つ、川之浜地区に開設された特養ホームへのアクセス道路にもなっているが、線形不良及び幅員狭小による離合困難となっており諸車通行に支障をきたしている状況である。改良工事を行うことにより、車輛離合困難の解消を図り車輛通行の安全を確保するとともに、地区住民の生活向上を図ることができる。	
総事業費		15,346,800	交付金充当額 15,300,000 うち文部科学省分 0 うち経済産業省分 15,300,000
交付金事業の成果及び評価		現況最少幅員が4.0mから改良後最少幅員が5.0mを確保することにより見通しの良い道路、離合可能な道路になる。これらの解消を図るため、道路改良工事のための測量設計を行い、今後、工事の施工により、生命及び交通の安全を確保し地区住民の生活の向上と併せて産業振興に寄与することが期待できる。 ・L=400.0m	
交付金事業の実施に伴い締結された売買、貸借、請負その他の契約			
契約の目的		契約の方法	契約の相手方
町道宇和海線測量設計委託業務(6工区)		制限付一般競争入札	株式会社 ウエスコ愛媛事務所
契約金額			
15,346,800			
成果及び評価に係る第三者機関の活用の有無			
無			
本事業に来年度以降も交付金を充当する場合の本事業に係る基本的な考え方			
来年度以降(耐用年数経過後)、老朽化等により使用困難となる場合には本交付金により更新することも考えられる。			
交付金事業の成果の再評価を行う場合の予定年度		特に予定なし	

別紙

I. 事業評価総括表

(単位：円)

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は間接交付金事業者名	交付金事業に要した経費	交付金充当額	備考
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	町道三崎名取口線道路改良工事	伊方町	73,116,000	69,000,000	
合 計				73,116,000	69,000,000	

II. 事業評価個表

番号	措 置 名	交 付 金 事 業 名	
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	町道三崎名取口線道路改良工事	
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		伊方町	
交付金事業実施場所	町道三崎名取口線(愛媛県西宇和郡伊方町二名津)		
交付金事業の概要	本線は、集落間を接続する主要幹線町道であり、主要物流経路及び地域防災における避難経路にも活用されている重要な生活道路であるが、線形不良及び幅員狭小による離合困難にて交通に支障を来しており、日常生活への支障と不安が絶えない状況である。改良工事を行うことにより、車輛離合困難の解消を図り車輛通行の安全を確保するとともに、地区住民の生活向上を図ることができる。		
総事業費	73,116,000	交付金充当額 うち文部科学省分 うち経済産業省分	69,000,000 0 69,000,000
交付金事業の成果及び評価	道路改良工事により、現況最少幅員が5.5mから7.0mへと拡張されたことで、見通しが良く離合可能な道路となり、生命及び交通の安全が確保され、地区住民の生活の向上と併せて産業振興に寄与することが出来た。 また、本線は原子力災害時の広域避難における大型車両の町内搬送ルートであることから、避難行動計画の実効性の向上が図られ、住民に安心感を与えられた。 ・L=77.4m		
交付金事業の実施に伴い締結された売買、貸借、請負その他の契約			
	契約の目的	契約の方法	契約の相手方
	町道三崎名取口線道路改良工事(請負)	制限付一般競争入札	有限会社 三崎建設
			契約金額 73,116,000
成果及び評価に係る第三者機関の活用の有無			
無			
本事業に来年度以降も交付金を充当する場合の本事業に係る基本的な考え方			
来年度以降(耐用年数経過後)、老朽化等により使用困難となる場合には本交付金により更新することも考えられる。			
交付金事業の成果の再評価を行う場合の予定年度		特に予定なし	

別紙

I. 事業評価総括表

(単位：円)

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は間接交付金事業者名	交付金事業に要した経費	交付金充当額	備考
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	伊方町観光物産センター改修工事	伊方町	171,406,000	142,000,000	
合 計				171,406,000	142,000,000	

II. 事業評価個表

番号	措 置 名	交 付 金 事 業 名	
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	伊方町観光物産センター改修工事	
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		伊方町	
交付金事業実施場所	伊方町観光物産センター(愛媛県西宇和郡伊方町九町3番耕地179番地1)		
交付金事業の概要	当該施設は、建設から21年が経過し施設の老朽化が進んでいる。現在伊方町では、佐田岬観光まちづくり計画を策定し観光及び地場産業の活性化に力を入れているところであり、拠点施設として重要な役割を担う施設である。改修を実施することにより施設の機能強化及び魅力の向上を図り、これまで以上に観光並びに産業振興に寄与する施設とするため改修を実施する。		
総事業費	171,406,000	交付金充当額 うち文部科学省分 うち経済産業省分	142,000,000 0 142,000,000
交付金事業の成果及び評価	<p>改修工事实施により、老朽化していた設備が更新されファミリートイレを完備するなど利用者が安心して利用できる施設となった。また、他の道の駅にはない「ふれあい水槽」や「きららアクアリウム」を整備したことにより施設の魅力向上が図られ、町内外からの観光客誘致に寄与している。改修を機に特産品販売スペースでは、オリジナル商品の販売を開始するなど町内業者の意欲向上に繋がっており、訪れる観光客等から好評を得ている。</p> <p>レジ客数 27年度 4月 2,615人 5月 3,987人 レジ総売上 27年度 4月 2,727千円 5月 4,515千円 28年度 4月 3,785人 5月 5,967人 28年度 4月 4,044千円 5月 5,933千円</p>		
交付金事業の実施に伴い締結された売買、貸借、請負その他の契約			
	契約の目的	契約の方法	契約の相手方
	伊方町観光物産センター改修工事(請負)	制限付一般競争入札	堀田建設(株)伊方支店
			契約金額 171,406,000
成果及び評価に係る第三者機関の活用の有無			
無			
本事業に来年度以降も交付金を充当する場合の本事業に係る基本的な考え方			
来年度以降(耐用年数経過後)、老朽化等により使用困難となる場合には本交付金により更新することも考えられる。			
交付金事業の成果の再評価を行う場合の予定年度		特に予定なし	

別紙

I. 事業評価総括表

(単位：円)

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は間接交付金事業者名	交付金事業に要した経費	交付金充当額	備考
1	地域活性化措置	スクールバス運行管理業務委託事業	伊方町	43,200,621	14,000,000	
合 計				43,200,621	14,000,000	

II. 事業評価個表

番号	措 置 名	交 付 金 事 業 名	
3	地域活性化措置	スクールバス運行管理業務委託事業	
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		伊方町	
交付金事業実施場所	伊方町内		
交付金事業の概要	<p>学校の統廃合が急速に進んだことにより、児童・生徒の通学距離が延びるという問題が発生している。また、全国的に通学路における車両事故等や犯罪が急増しており、登下校時の安全の確保が大きな課題となっている。本事業でスクールバスを運行委託することにより、児童・生徒の登下校時の安全性と利便性を確保することができる。【10月～3月】</p>		
総事業費	43,200,621	交付金充当額 うち文部科学省分 うち経済産業省分	14,000,000 0 14,000,000
交付金事業の成果及び評価	<p>地域の子供の教育は地方自治体にとって重要な責務であり、地方創生の観点からも地域を担う人材の育成は真剣に取り組むべき命題である。にもかかわらず、当町においては急激な過疎化、高齢化により学校統合を余儀なくされ、廃校となった地域の児童の通学距離が延びることによる子供たちへのストレスが懸念事項であった。本事業によりスクールバス運行を委託し十分に安全管理された通学手段を確保することで子供たちのストレスが大きく軽減され、健全で規則正しく、のびやかに学業に専念できる環境が整えられた。</p>		
交付金事業の実施に伴い締結された売買、貸借、請負その他の契約			
	契約の目的	契約の方法	契約の相手方
	スクールバス運行管理業務委託事業(伊方地域)	制限付一般競争入札	株式会社クワイエ伊方
	スクールバス運行管理業務委託事業(瀬戸地域)	制限付一般競争入札	佐田岬有限会社
	スクールバス運行管理業務委託事業(三崎地域)	制限付一般競争入札	岬観光開発株式会社
			契約金額
			12,619,422
			15,991,148
			14,590,051
成果及び評価に係る第三者機関の活用の有無			
無			
本事業に來年度以降も交付金を充当する場合の本事業に係る基本的な考え方			
地域環境整備のため今後も充当予定			
交付金事業の成果の再評価を行う場合の予定年度		特に予定なし	

別紙

I. 事業評価総括表

(単位：円)

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は間接交付金事業者名	交付金事業に要した経費	交付金充当額	備考
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	町内小学校ICT機器整備事業	伊方町	68,148,000	55,000,000	
合 計				68,148,000	55,000,000	

II. 事業評価個表

番号	措 置 名	交 付 金 事 業 名	
1	福祉対策措置	町内小学校ICT機器整備事業	
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		伊方町	
交付金事業実施場所	伊方小学校(愛媛県西宇和郡伊方町湊浦993番地1) 水ヶ浦小学校(愛媛県西宇和郡伊方町中之浜10番地1) 九町小学校(愛媛県西宇和郡伊方町九町1番耕地1721番地1) 三机小学校(愛媛県西宇和郡伊方町三机乙3305番地1) 大久小学校(愛媛県西宇和郡伊方町大久1638番地) 三崎小学校(愛媛県西宇和郡伊方町三崎907番地)		
交付金事業の概要	本町においては情報化社会に対応できる児童生徒を育てるために、学校教育におけるICTの有効的な活用が可能となるよう、計画的な情報機器等の整備を行っているが、当町の小学校は小規模校が多く、ほとんどの学校が複式学級となっているため、軽量で移動も簡単にできる電子黒板を整備いたしたい。 また、児童1人に1台と担任教師に1台の情報端末(タブレット)と無線LAN環境を整備し、共同学習やドリルのアプリ利用により、楽しく分かりやすい授業、個々の学習状況に合わせた指導をすることで、学習に対する興味関心、学習意欲、学力の向上につなげる。		
総事業費	68,148,000	交付金充当額	55,000,000
		うち文部科学省分	0
		うち経済産業省分	55,000,000
交付金事業の成果及び評価	別紙		
交付金事業の実施に伴い締結された売買、貸借、請負その他の契約			
	契約の目的	契約の方法	契約の相手方
	町内小学校ICT機器整備事業(売買)	制限付き一般競争入札	株式会社ほうきょう
			契約金額 68,148,000
成果及び評価に係る第三者機関の活用の有無			
無			
本事業に来年度以降も交付金を充当する場合の本事業に係る基本的な考え方			
来年度以降(耐用年数経過後)、老朽化等により使用困難となる場合には本交付金により更新することも考えられる。			
交付金事業の成果の再評価を行う場合の予定年度		特に予定なし	

交付金事業の成果及び評価

本事業により生徒一人に一台の情報化端末及びそれらを授業に活用する環境を整備したことで、生徒の授業への関心度が高まり、個々の学習状況を把握することできめ細かな教育が可能となった。

小学生児童の新しい物、未知な物への好奇心、探究心は想像以上であり、本事業で整備した機器への好奇心が、そのまま学習意欲の向上に結び付いた。

また、近年、社会情勢におけるICTの活用はめまぐるしく変化しており、スマートホン、タブレット端末等のICT機器は日常生活の中でも必要不可欠な道具となりつつある。そのような状況の中、本町の小学生が日々の授業の中で電子黒板、情報端末等を使用することで、ICT機器の利用を日常化し、機器の使用に対する間口を広げ、自信が育まれた事は、今後の社会生活の中でも大きく役立つ成果となった。

さらに、近年では防災面でも緊急速報メール、SNS、災害時伝言掲示板等のICTを活用した災害対策が進められており、当町の小学生が情報端末に慣れ親しむことで、それらの情報を迅速かつ正確に受け取る技術を得ることも期待され、防災対策の向上にも大きく寄与されることとなる。

整備機器等

	電子黒板	ノートパソコン	児童用タブレット	教師用タブレット	管理用ノートパソコン
伊方小学校	6台	6台	120台	8台	1台
水ヶ浦小学校	4台	4台	21台	5台	1台
九町小学校	6台	6台	58台	8台	1台
三机小学校	5台	5台	30台	7台	1台
大久小学校	5台	5台	39台	5台	1台
三崎小学校	6台	6台	60台	6台	1台
計	32台	32台	328台	39台	6台

別紙

I. 事業評価総括表

(単位：円)

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は間接交付金事業者名	交付金事業に要した経費	交付金充当額	備考
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	三机小学校校舎外部改修工事基金造成事業	伊方町	19,000,000	19,000,000	
合 計				19,000,000	19,000,000	

II. 事業評価個表

番号	措 置 名	交 付 金 事 業 名							
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	三机小学校校舎外部改修工事基金造成事業							
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		伊方町							
交付金事業実施場所		伊方町							
交付金事業の概要		三机小学校は昭和56年2月に建築された鉄筋コンクリート造3階建ての建物である。建築後34年が経過し、外壁等には経年劣化によるひび割れや爆裂が発生し、一部コンクリート片が落下している個所もあり早期の対策が望まれる。また剥離が見込まれる個所は強制的に落下させ、児童に危険がないように対応しているが、目の届かない場所で剥離することが懸念されるため、改修工事を実施するための基金造成を実施。							
総事業費		19,000,000	<table border="1"> <tr> <td>交付金充当額</td> <td>19,000,000</td> </tr> <tr> <td>うち文部科学省分</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>うち経済産業省分</td> <td>19,000,000</td> </tr> </table>	交付金充当額	19,000,000	うち文部科学省分	0	うち経済産業省分	19,000,000
交付金充当額	19,000,000								
うち文部科学省分	0								
うち経済産業省分	19,000,000								
交付金事業の成果及び評価		改修工事のための所要の金額の基金を造成することができた。平成28年度に改修工事を実施することによりコンクリート片の落下の心配がなく、学校内を自由に行動ができ、児童が安心して学校生活を送ることが期待される。							
交付金事業の実施に伴い締結された売買、貸借、請負その他の契約									
契約の目的		契約の方法	契約の相手方						
基金造成		積立	-						
			19,000,000(総事業費)						
成果及び評価に係る第三者機関の活用の有無									
無									
本事業に來年度以降も交付金を充当する場合の本事業に係る基本的な考え方									
施設の維持運営の継続を図るため、今後も充当予定。									
交付金事業の成果の再評価を行う場合の予定年度		平成29年度							

別紙

I. 事業評価総括表

(単位：円)

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は間接交付金事業者名	交付金事業に要した経費	交付金充当額	備考
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	伊方町電源立地地域対策交付金公共用施設維持運営基金造成事業	伊方町	585,532,000	585,532,000	
合 計				585,532,000	585,532,000	

II. 事業評価個表

番号	措 置 名	交 付 金 事 業 名	
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	伊方町電源立地地域対策交付金公共用施設維持運営基金造成事業	
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		伊方町	
交付金事業実施場所		伊方町	
交付金事業の概要		本事業による施設運営は、町民の生涯学習・生涯スポーツへの要求、高齢化社会に対応する予防のための保健対策、豊かな人間性を育てる学校教育の充実、町民の健康維持と安心の町づくりを目的とした地域医療の充実等、いずれも町民の生活に密着した重要な施策であり、これらの施設を効率的・効果的に維持運営することを目的として基金を造成した。	
総事業費		585,532,000	交付金充当額 うち文部科学省分 うち経済産業省分 585,532,000 0 585,532,000
交付金事業の成果及び評価		公共用施設の将来の維持運営のため、所要の金額の基金を造成することができた。町民の生涯学習・生涯スポーツへの要求、高齢化社会に対応するための予防のための保健対策、豊かな人間性を育てる学校教育の充実、町民の健康維持と安心の町づくりを目的とした地域医療の充実等、いずれも町民の生活に密着した重要な施策であり、これらの施設を効率的・効果的に維持運営していくことが期待できる。	
交付金事業の実施に伴い締結された売買、貸借、請負その他の契約			
契約の目的		契約の方法	契約の相手方
基金造成		積立	-
契約金額 585,532,000(総事業費)			
成果及び評価に係る第三者機関の活用の有無			
無			
本事業に来年度以降も交付金を充当する場合の本事業に係る基本的な考え方			
施設の維持運営の継続を図るため、今後も充当予定。			
交付金事業の成果の再評価を行う場合の予定年度		平成29年度	